

モントール CDA・酸素精製装置は、炭化水素を 1ppb レベルまで減少させます。精製処理方法は触媒方式による酸化で CH<sub>4</sub> (及びその他の炭化水素)、CO、H<sub>2</sub> などのあらゆる還元性物質を酸化します。この反応は高温で行われます。加熱された材料(精製用合金)が、酸素の存在下で、炭化水素、CO、H<sub>2</sub> などの還元性不純物に晒されると、これらの不純物はすべて酸素と結びつき CO<sub>2</sub>、及び H<sub>2</sub>O になります。

CDA(クリーンドライエアー)が加熱された材料(精製用合金)に晒されると、CDAに含まれているCO及びCH<sub>4</sub>(及びその他の炭化水素)はCO<sub>2</sub>、およびH<sub>2</sub>Oに変換されます。CDA中の不純物の炭素、水素量におうじてCO<sub>2</sub>とH<sub>2</sub>Oが増加します。

精製器用合金が含まれる触媒は、連続使用しても消耗しません。この触媒カラムは 350°Cで運転されます。ケーブルヒーターで加熱され、温度は熱伝対とコントローラーで制御されています。

本装置は、ガスの出入口配管を「UHP 用 1/4"VCR 継手」にそのまま接続することができる上に、組立て不要の一体型のガス精製装置です。

装置内の出入口配管には、ステンレスダイヤフラムバルブ、0.003 μm のパーティクルフィルター、制御用にコントロールボードが装備されています。

### 用途

マスクパターン フォト・レシオグラフィー  
DUV オプティクス

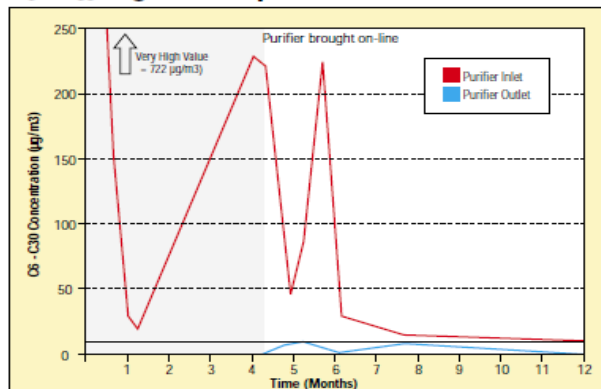
### 精製対象ガス

・CDA ・酸素

### 対象除去不純物

・THC、CO、H<sub>2</sub>

C<sub>6</sub> - C<sub>30</sub> Organic Compound Concentration



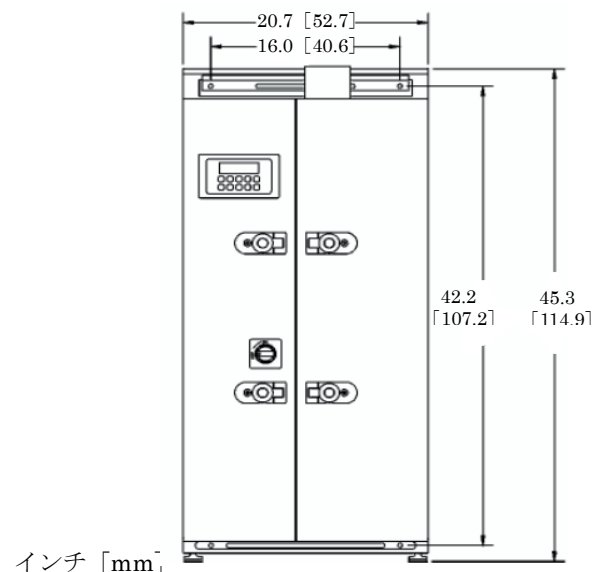
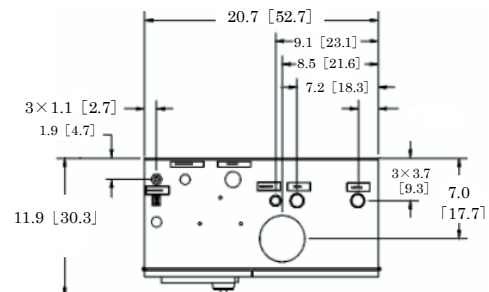
PS15-MT50

### □寿命

定格流量で標準的なファイブ・ナインのガスを基準として1年 (具体的な寿命についてはお問い合わせください。)

□定格流量: 0-100slpm

□最大入口圧力: 0.97MPa



インチ [mm]

## 精製能力

不純物	酸素/CDA
THC(CH <sub>4</sub> +NMHC)	<1 ppb
CO	<1 ppb
H <sub>2</sub>	<1 ppb

## 標準仕様

	酸素/CDA
操作温度(°C)	350
最大使用圧力	0.97MPa
電力消費(ワット) 通常/最大	50/300
最大圧力損失(kg/cm <sup>2</sup> )	0.7
0.003 μm パーティクルフィルター	標準
ライフ状態センサー	—
インターロック機能	—
バイパス・アッセンブリー	オプション
配管継手 1/4VCR	標準
電解研磨 Ra 10 μ inch	標準
1/4"ダイヤフラム・バルブ	マニュアル
バルブ駆動用エア	—